

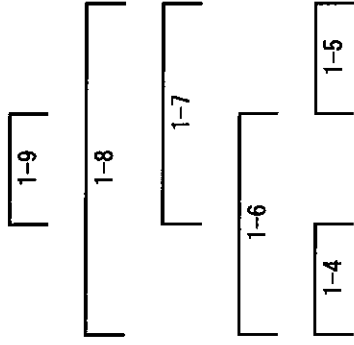
《予選リーグの結果による決勝トーナメント戦》

(世田谷区)



《予選リーグ戦》

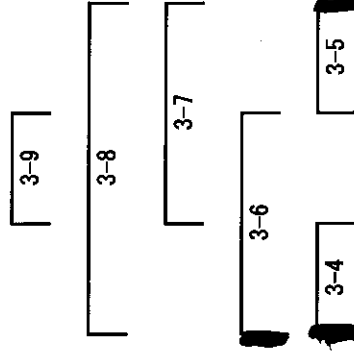
Aブロック 第1試合場



1 2 3 4

- 世田谷区
- 足立区
- 三多摩
- 豊島区

Bブロック 第3試合場



5 6 7 8

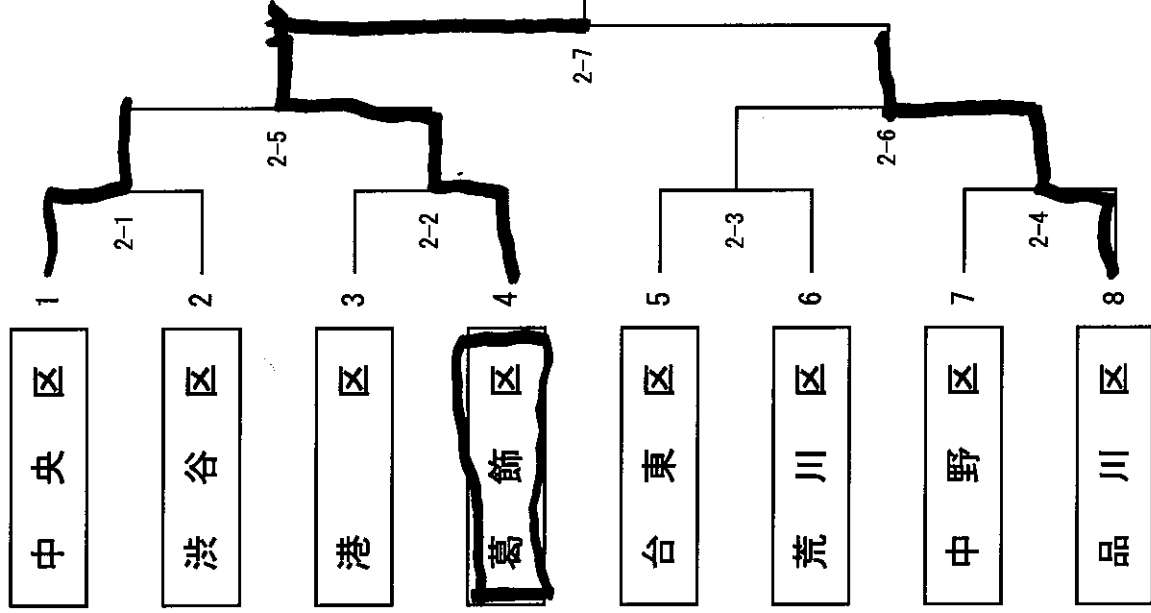
- 大田区
- 北区
- 墨田区
- 板橋区

	世田谷区	足立区	三多摩	豊島区	勝点	順位
世田谷区						
足立区						
三多摩						
豊島区						

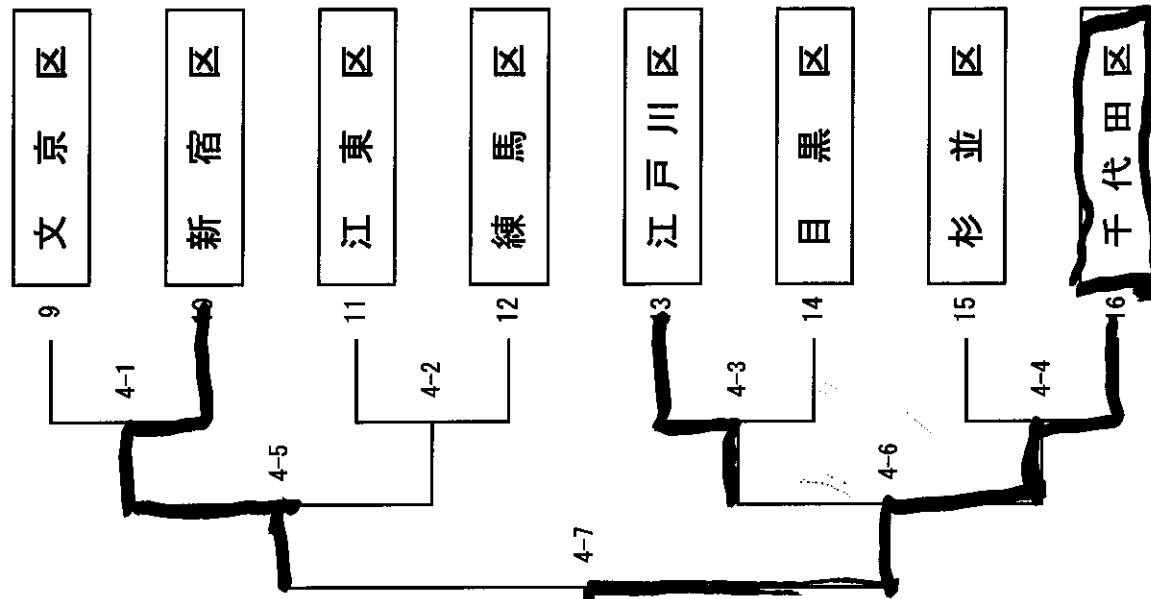
	大田区	北区	墨田区	板橋区	勝点	順位
大田区						
北区						
墨田区						
板橋区						

《トーナメント戦》

第2試合場



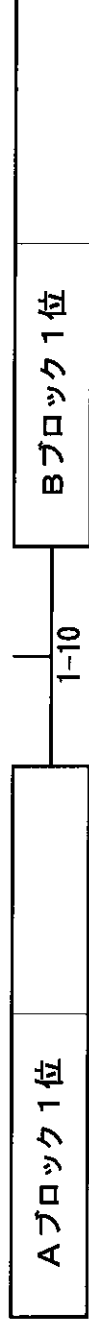
第4試合場



《記録》

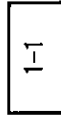
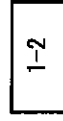
	優勝	準優勝	第3位
第1部			
第2部			

《予選リーグの結果による優勝決定戦》



《予選リーグ戦》

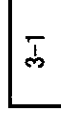
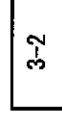
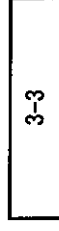
Aブロック 第1試合場



1 2 3

城東	城西	城北
----	----	----

Bブロック 第3試合場



4 5 6

城南	三多摩	中央
----	-----	----

	城東	城西	城北	勝点	順位
城東					
城西					
城北					

	城南	三多摩	中央	勝点	順位
城南					
三多摩					
中央					

第64回 東京都24地区対抗柔道大会 要項

1. 主催 公益財団法人東京都柔道連盟

2. 日時 令和元年12月15日(日) 開会式 午後1時(着替えて12時45分までに大道場に集合)

3. 会場 講道館 新館7階 大道場

4. 参加資格 (1) 選手は、(公財)東京都柔道連盟を通して、(公財)全日本柔道連盟に登録をしている者で、下記のいずれかの条件にあてはまる者とする。

① 当該地区に、「在住」「在勤」「在学」の者

② 当該地区を通して、全柔連登録を行っている者

③ 当該地区の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・大学・専門学校のうちいずれかに在籍していた者

(2) 選手は全柔連強化選手(ジュニア・カデを含む)に指定されている、または指定されていた者を除く。また、講道館杯、選抜体重別、全日本選手権に出場したものを除く。

(3) 選手は各地区柔道会の承認を得た者に限る。

(4) 監督は全柔連公認指導者資格(C指導員以上)を有していること。

5. チーム編成 (1) 選手は講道館の参段1名、三段2名、初段2名、計5名とするが、該当段位者がいない場合は下位者に代えることができる。但し、無段者は出場出来ない。

(2) 選手は、一般社会人5名を原則とする。

但し、警察官・実業団(刑務官を含む)・大学生(高校卒を入学資格とする各種学校生、高専の4・5年生を含む)から、合わせて2名以内(同一団体も可)の出場を認める。

高校生は2名以内(同一校も可)の出場を認める。

6. 試合方法 (1) 第1部は8チームによるA・Bリーグ戦(4チーム×2)及び、A・Bリーグ1位のチームによる決勝戦を行う。A・Bリーグで2位のチームが第3位となる。

(2) 第2部は16チームによるトーナメント戦とする。

(3) 組合せは、抽選により決定する。但し、前年度の第1部優勝チーム及び準優勝チームは、それぞれ異なるブロックに振り分ける。

(4) チームの勝敗は次の順で決定する。

1 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

2 1で同等の場合は「一本勝ち」の多いチームを勝ちとする。

3 2で同等の場合は「技あり優勢勝ち」の多いチームを勝ちとする。

4 3で同等の場合、リーグ戦は「引き分け」とし、第1部決勝戦及び第2部トーナメント

戦は引き分けの対戦の中から一試合(複数の場合は抽選)をゴールデンスコア方式による

代表戦を行う。引き分けの対戦が無い場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない

対戦から選出する。また、代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、

抽選によって勝敗を決定する。

(5) リーグ戦における順位は次の順で決定する。

1 3勝、2勝1引き分け、2勝1負、1勝1引き分け、1勝1引き分け1負、1勝2負、

3引き分け、2引き分け1負、1引き分け2負、3負の順位とする。

2 1で同等の場合は、リーグ戦を通じて(3以下同様)勝者総数の多いチームを上位とする。

3 2で同等の場合は、「一本勝ち」による勝者総数の多いチームを上位とする。

4 3で同等の場合は、「技あり優勢勝ち」による勝者総数の多いチームを勝ちとする。

5 4で同等の場合は、敗者総数の少ないチームを上位とする。

6 5で同等の場合は、「一本」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

7 6で同等の場合は、「技あり」による敗者総数の少ないチームを上位とする。

8 7で同等の場合は、抽選によって順位を決定する。

(6) 今年度の試合成績により第1部、第2部の入れ替えを行う。

1 第1部の下位2チーム(Aブロックの4位とBブロックの4位)は次年度第2部に入れ替わる。

2 第2部の上位2チーム(優勝、準優勝チーム)は、次年度、第1部に入れ替わる。

7. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定で行う。

(2) 勝敗の決定基準は「一本」「技あり」「僅差」※とし、得点差が無く、かつ「指導」差が

1以内の場合は「引き分け」とする。

※「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技あり）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。

但し、代表戦の場合は、時間無制限のゴールデンスコアにより勝敗を決する。

(3) 試合時間は、4分間とする。

(4) 審判員は、(公財)東京都柔道連盟が委嘱した者による。

8. 表彰 (1) 第1部、第2部の優勝・準優勝・3位(2チーム)の8チームを表彰する。

(2) 前年度優勝チームに、レプリカを授与する。

9. 申込方法 (1) 申込締切 令和元年11月21日(木) 必着

(2) 申込方法 所定の申込み用紙に必要事項を記入のうえ、提出すること。

(3) 参加費 1チーム 20,000円 ※ 大会当日、新館4階受付にて納入のこと。

(4) 申込み先 (公財)東京都柔道連盟

〒112-0003 文京区春日1-16-30 講道館内 / TEL 03-3818-5639

10. 組合わせ 令和元年11月25日(月)(公財)東京都柔道連盟事務局

11. 受付 監督・選手は、大会当日12時30分までにそれぞれ新館4階にて受付を行うこと。

受付を行わなかった場合は、欠場扱いになるので、注意すること。

12. 選手変更 開会式15分前(12:45)までとし、以後の変更は認めない。

選手変更用紙は、都柔連ホームページよりダウンロードして提出すること。

13. 保険 (1) 主催者が参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。

尚、万一の事故発生に備え、各所属で別途傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。

(2) 大会中の不慮の負傷・疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。

(3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。

14. その他 (1) 脳震盪について

1 大会前1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経科の治療を受け、出場の許可を得ること。

2 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

(なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)

3 練習の再開に関しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

4 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(2) 出場選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付けること。

(3) 所属名は、出場する地区名とする。

(4) ゼッケンを取付けていない選手は、出場できない。

(5) ゼッケンの仕様と縫い付け方

1 サイズは、横30cm～35cm、縦25cm～30cm

2 布地は白色(晒・太綾)

3 書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、黒色。

4 苗字(姓)は上側 2/3・地区名は下側 1/3。

5 縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm～10cm下部とし周囲と対角線に強い糸で縫いつける。

図1 ゼッケンの縫い付け方

図2 ゼッケンは、強い糸で図のように縫い付けること

